

＊ 造影 CT 撮影時の体位の違いが左心耳血栓の診断能に与える影響の研究 ＊

当院放射線科診療部では、過去に放射線科を受診され CT 検査を実施した患者さんのデータを利用した医学系研究を倫理審査委員会の承認ならびに院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して行いますのでご協力をお願い致します。

この研究を実施することによる放射線科を受診された患者さんへの新たな負担は一切ありません。またプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない方は、その旨を「9. お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出くださいようお願い致します。ご自分のデータの使用をお断りになっても、診断・治療などの不利益を受けることは一切ありません。

1. 対象となる方

当院において、2020年4月1日から2024年3月31日までに放射線科診療部にて造影 CT 検査を実施した患者さん。

2. 研究課題名

造影 CT 撮影時の体位の違いが左心耳血栓の診断能に与える影響の研究

3. 研究機関名

独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)東京山手メディカルセンター

4. 研究の目的、方法

Carto 造影 CT の撮影体位の違い、特に腹臥位が左心耳血栓の診断が向上すると報告している。今回我々は、過去に撮影された Carto 造影 CT (仰臥位・腹臥位) を含む心臓 CT のデータを利用して、心臓内腔・大血管などの抽出能について調査し、腹臥位撮影の有用性の検討を目的とする。

5. 協力をお願いする内容

2020年4月～2024年3月までに造影 CT 検査を実施した患者さんの電子カルテおよび RIS データの参照。

6. 本研究の実施期間

2024年4月1日～2026年3月31日

7. プライバシーの保護について

- (1) 本研究で取り扱う放射線検査を受診された方の個人情報（CT画像のみで、その他の個人情報（氏名、住所）などは一切取扱いません。
- (2) 本研究で取り扱う撮影条件データは、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。

8. 利益相反開示

本研究で開示すべき利益相反事項は一切ありません。

9. お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は下記へご連絡下さい。また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、[CT検査を実施した患者さんのデータ]の使用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な処置を行いますので、その場合も下記へご連絡をお願い致します。但し、検査時の撮影条件の収集完了後、システムの開発の進行具合によっては、検査時の撮影条件の使用の停止のお申し出に対応できない場合もあります。

研究機関担当者

JCHO 東京山手メディカルセンター 放射線科診療部

山本 進治

〒 169-0073

住所 東京都新宿区百人町 3-22-1

電話 03-3364-0251(内線 2020)

以上